

エコアクション21

環境活動レポート

(活動期間 : 2015年 9月 1日 ~ 2016年 8月31日)



MATSUURA

作成日 2016年 10月 4日

株式会社 松浦スチロール工業所

目次

- I. 事業概要
- II. 社是・社訓
- III. 環境方針
- IV. 活動組織・役割分担
- V. 目標・実績
- VI. 年間実績の推移
- VII. 活動計画・実施報告
- VIII. 環境関連法規の順守状況代表者の見直し
- IX. 代表者の見直し

I. 事業の概要

1. 事業所名 株式会社 松浦スチロール工業所

2. 代表者名 代表取締役社長 松浦 敏郎

3. 工場所在地

①本社工場 *平成28年7月より稼働

住所:静岡県榛原郡吉田町川尻907-1
電話:0548-32-0195、fax:0548-32-6360
敷地面積: 8,515.44㎡、建築面積: 3,463.93㎡
延床面積: 8,088.04㎡



②川尻工場

住所:静岡県榛原郡吉田町川尻892-1
電話:0548-32-1181 fax:0548-32-8907
敷地面積:14,760.96㎡、建築面積:6,858.24㎡
延床面積:12,241.98㎡



③住吉工場

住所:静岡県榛原郡吉田町住吉4655-1
電話:0548-32-4111、fax:0548-32-4112
敷地面積: 8,689.10㎡、建築面積: 5,758.34㎡
延床面積: 6,178.34㎡



4. エコアクション21責任者及び連絡先

環境管理責任者: 松浦秀哉(常務取締役)

連絡先(事務局): 住所: 静岡県榛原郡吉田町川尻907-1
事務窓口 松浦里美
TEL : 0548-32-0195 FAX : 0548-32-6360
e-mail: satomi-m@m-eps.co.jp

5. 主な事業内容 発泡スチロール製品の製造及び販売

6. 取扱品目

生鮮・保冷用搬送容器類、Fモールド用ブロック、電化製品の部材及び緩衝材、農業用資材、建築用資材、他

7. 事業規模

資本金: 2,000万円
総従業員数: 84名 (本社工場:30名、川尻工場:49名、住吉工場 5名)

8. エコアクション21 適用範囲

- ①当社の事業活動に関係する全ての業務
- ②当社が顧客に提供する製品及びサービス
- ③当社が管理する敷地・施設・機器

Ⅱ. 社是・社訓

「誠実」 人としてもっとも大切なことは誠実であり、誠実は信用を得る基であり、信用が発展の第一条件である。

「和」 経営は全員の総力の結集であり、人の和こそ企業の推進力である。和やかで明朗で活気ある職場を創ろう。

「啓発」 常に創意工夫を凝らし、より良い製品を、より安く、より早く、作ることに努力しよう。

「奉仕」 奉仕の精神を社業に生かし、より良い社会の建設に努力しよう。

Ⅲ. 環境方針

〔基本理念〕

株式会社松浦スチロール工業所は、社是「誠実・和・啓発・奉仕」の基本理念に基づき、「信用の会得」「総力の結集」「創意工夫」「社会貢献」に努め、企業活動において、社会的責任と地球環境の保全を推進し、資源循環型社会の構築に貢献します。

〔活動指針〕

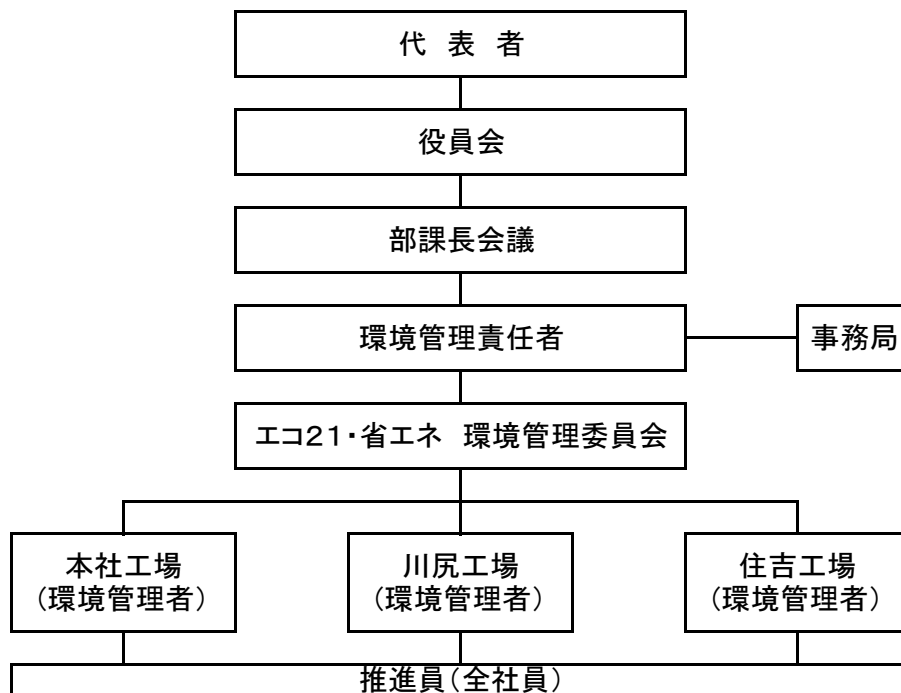
1. 関係法令、地域協定、当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 不良品の発生防止と多様化するニーズに適合した製品とサービスの提供に努めます。
3. 生産および販売活動における効率の向上と無駄の排除に努めます。
4. 省資源・省エネを推進し、CO2排出量低減に努めます。
5. 廃棄物の適正保管と3R(減量・再使用・再生)に努めます。
6. グリーン購入を推進します。
7. 本方針を基に活動の目的・目標・計画を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
8. 社内の教育・啓蒙活動を推進し、環境保全と安全衛生の意識向上に努めます。
9. 本方針及び環境レポートは一般に公表し、地域社会とのコミュニケーションの円滑化に努めます。

制定：2003年 1月20日
第2回 改定：2014年 9月 1日

株式会社 松浦スチロール工業所
代表取締役社長 松浦 敏郎

IV. 活動体制-分担

○ 活動組織



○ 役割分担

代表者(総括)	①環境方針の策定 ②環境管理責任者の選任 ③運用に必要な経営資源の用意 ④全体評価・見直し ⑤外部コミュニケーション判断
環境管理責任者	①環境システムの構築(運用、維持、確認、管理) ②実績を代表者に報告 ③組織体制と役割分担の構築 ④関係法令リストの作成及び順守確認と環境側面の把握 ⑤書類の確認 ⑥防災・緊急事態争点訓練の指示
副環境管理責任者	①環境管理責任者の補佐及び不在時の代行。②環境管理者のフォロー。③外部からの苦情及び要望の処理対応。
環境管理者	①目標・活動計画の策定、報告 ②EMSの実施と運用確認 ③周知・伝達・教育 ④定期的な監視と記録 ⑤改善・是正処置及び再発防止対策 ⑥作業手順書の作成 ⑦防災・緊急事態想定訓練の実施と見直し ⑧外部環境情報・苦情の対応
推進員	①環境方針・目標・計画の理解と活動の推進 ②コミュニケーションの徹底
EA21事務局	①書類の作成、管理 ②環境管理委員会の開催・議事録作成 ③環境レポートの作成と公開
省エネ・エコ21 環境管理委員会	①省エネ法・県温暖化防止条例の対応②省エネ・環境活動における目標・計画の協議・決定 ③進捗状況の確認と活動の見直し④2ヶ月に毎の委員会に開催と議事録の作成

V. 活動結果

1. 目標値と実績値（全工場）

2015. 09 ~ 2016. 08

削減対象項目	単位		前期実績	当期実績	目標値		
			第51期	第52期	第53期	第54期	第55期
			前期目標値の1%削減				
二酸化炭素総排出量 (②/①)	kgCO ₂ /kg	目標	2.473	2.448	2.424	2.400	2.376
		実績	2.569	2.653			
評価			×	×			
特定化学物質取扱量- メチルナフタレン(⑩/①)	kg/kg	目標	0.958	0.948	0.939	0.930	0.920
		実績	0.696	0.733			
評価			○	△			
燃料原単位(LPG換算) (⑤/①)	kg/kg	目標	0.686	0.679	0.672	0.666	0.659
		実績	0.601	0.625			
評価			○	△			
電力量原単位(⑥/①)	kg/kg	目標	1.051	1.040	1.030	1.020	1.010
		実績	1.060	1.102			
評価			×	×			

* 電力の二酸化炭素排出量の把握には中部電力(株)から2014年度に教示された実排出係数を用いる。→ 係数 : 0.497

水の総排水量(⑧/①)	m ³ /kg	目標	0.0713	0.0706	0.0699	0.0692	0.0685
		実績	0.0710	0.0728			
評価			○	×			
廃棄物総排出量 (全量)	kg	目標	24,425	24,181	23,939	23,700	23,463
		実績	24,611	19,141			
評価			×	○			
EPS不良率(⑩/①)	%	目標	0.165	0.163	0.162	0.160	0.158
		実績	0.175	0.166			
評価			×	△			
グリーン購入 (事務エコ商品全般)	%	目標	70	71	72	73	74
		実績	70	65			
評価 (良:○ 可:△ 不可:×)			△	×			

*. ○前期対比・目標値とも達成、△は前期対比・目標値 同等又はどちらか達成、×は前期・目標値とも未達成。

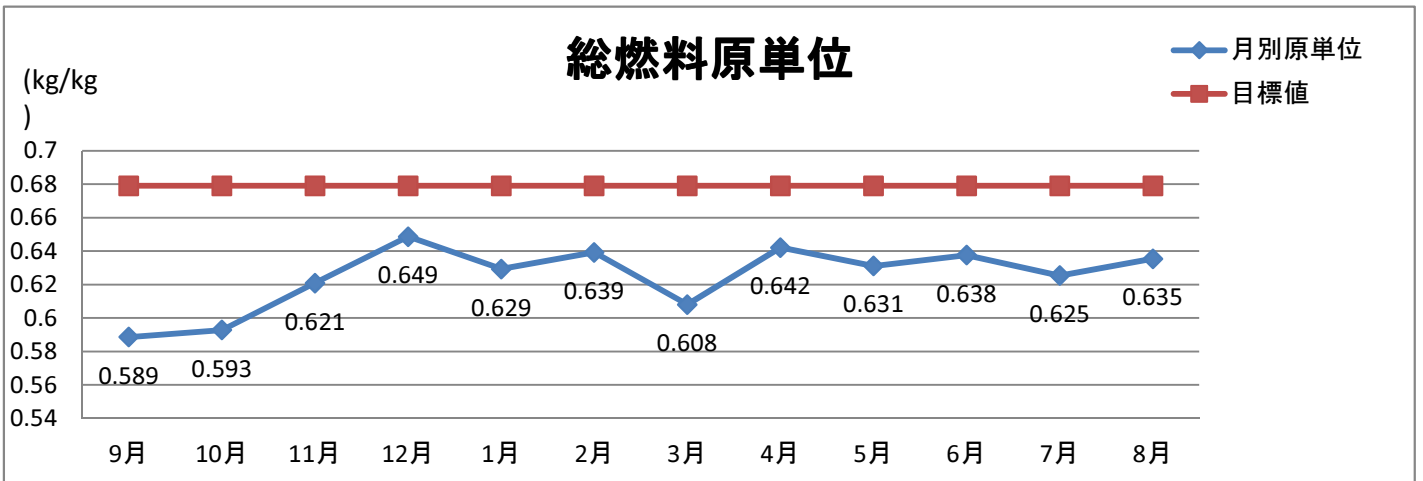
2. 使用・排出量実績（全工場）

項目	単位	実績比較	
		前期	当期
① 総原料使用量	kg	2,950,528	2,843,470
② 二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	7,579,629	7,543,250
③ 重油総使用量	ℓ	1,667,696	1,691,863
④ LPG総使用量	kg	474,935	457,582
⑤ LPG・重油LPG換算総使用量 ②+③	kg	1,774,775	1,776,259
⑥ 電力総使用量	kWh	3,129,935	3,133,237
⑦ 特定化学物質排出量	kg	20,546	20,844
⑧ 水の総排水量	m ³	2,123,415	206,890
⑨ 廃棄物総発生量	kg	24,611	19,141
⑩ EPS不良総発生量	kg	5,164	4,718
⑪ メチルナフタレン排出量	kg	20,536	20,844

VI. 全工場各原単位及び不良率の年間推移表

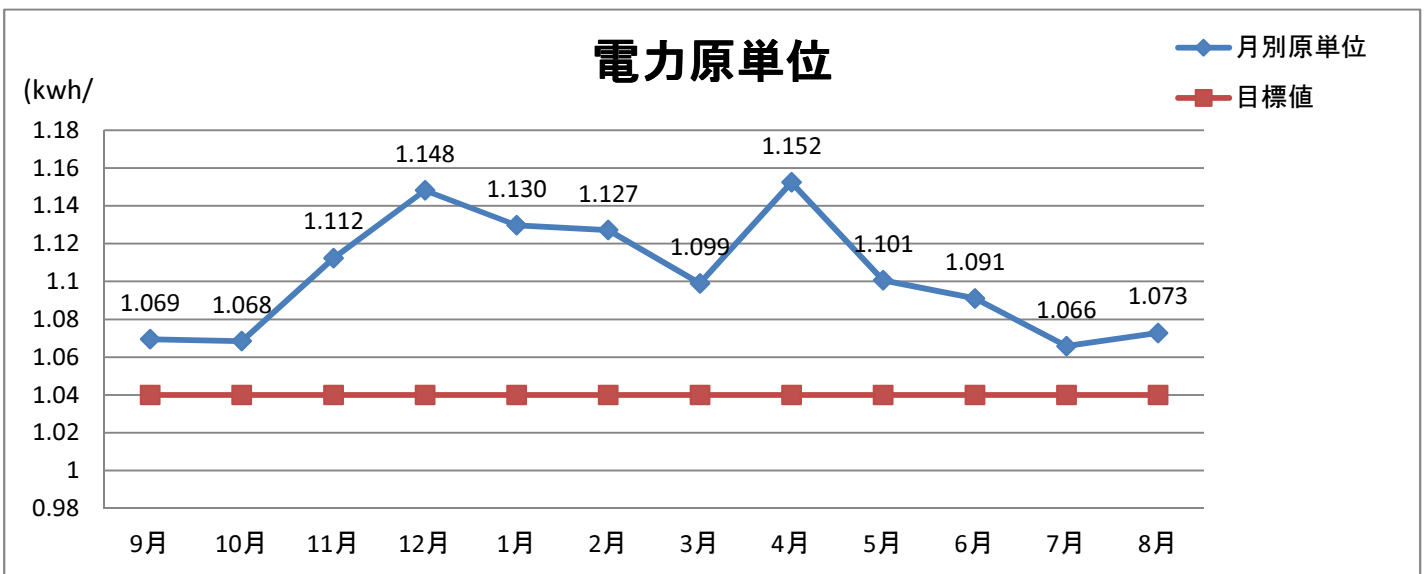
1. 総燃料原単位(kg/kg) * LPG換算

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	0.589	0.593	0.621	0.649	0.629	0.639	0.608	0.642	0.631	0.638	0.625	0.635	0.625
目標値	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679



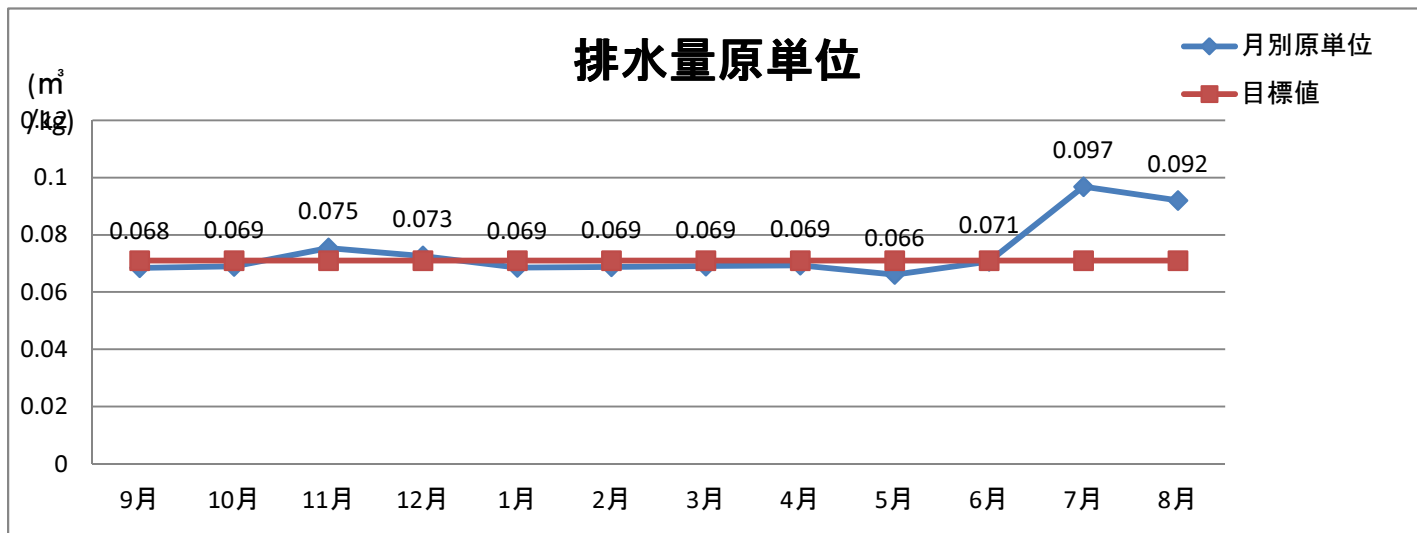
2. 総電力原単位(kwh/kg)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	1.069	1.068	1.112	1.148	1.130	1.127	1.099	1.152	1.101	1.091	1.066	1.073	1.102
目標値	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040



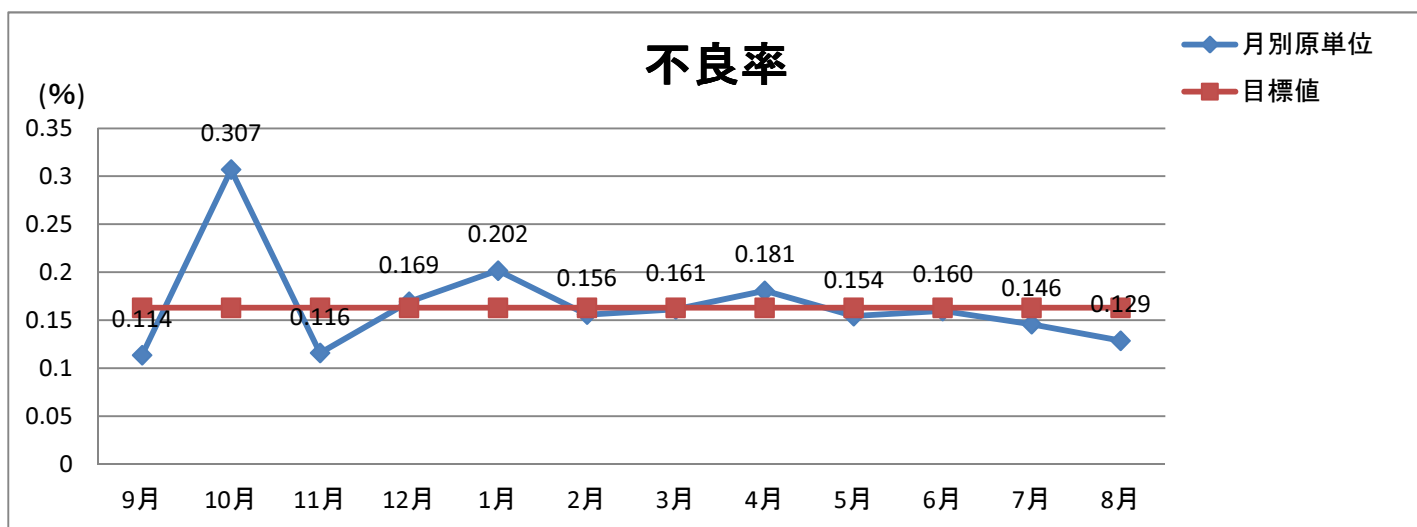
3. 総排水量原単位(m³/kg)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	0.068	0.069	0.075	0.073	0.069	0.069	0.069	0.069	0.066	0.071	0.097	0.044	0.073
目標値	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071



4. 工場全体不良率 (%)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	0.114	0.307	0.116	0.169	0.202	0.156	0.161	0.181	0.154	0.160	0.146	0.129	0.166
目標値	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163



Ⅶ. 活動結果・計画
第 52 期 環境目標・計画報告書

目標・計画	○	活動結果・評価
-------	---	---------

2016年9月12日 作成

作成・報告者名		
久米	本杉	戸塚

対象工場: 住吉工場

区分	項目	前期実績	今期目標	実施計画													目標値評価		施策評価	評価コメント									
				実施手段	期日	部署又は担当者	タイムスケジュール														実績値	○・×	／5点						
不良削減	旧本型	0.498	0.493	毎月の不良対策会議の実施。	期中	高橋(毅)、浅井	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0.232	○	5	不良品会議での協議により意識が浸透し、実施する事により不良金額、率共に大幅に改善出来た。型物は12ヶ月全てクリアし月平均金額¥45,306。ブロックはAXBの不良を出してしまった。月平均金額¥33,761。	
	住ブ	0.051	0.000	型物不良金額10万円/月の設定。	期中	大石(容)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0.067	×	5		
	川一型A			金型の整備、機械保守点検の実施。	期中	高橋(毅)、谷澤、杉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					4
	川一型B			原料切替表示の徹底。	期中	栗野、成型担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					4
	川二型			AXB原料の管理及び成型管理。	期中	谷澤、大塚、石	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					2
	川ニブ				期中																								
社外発生不良防止					期中	戸塚(晴)、久米、大石(容)																				3			
グリーン購入				グリーン調達	期中	松浦(里)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	5	前年同様に積極的に取り組んだ。年間平均購入比率は65%。		
二酸化炭素・化学物質排出量	電力原単位(kw/kg)	0.917	0.908	コンプレッサの始動を成型機の始動10分前とする。	期中	浅井	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.016	×	5	6月までの実績値です。ブロック生産量減少により原単位が悪化した。各施策は実行した。	
	使用量/生産量			残業時の照明は最小限度に抑える。	期中	全社員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
				不要時の消灯活動と使用記録の実施。	期中	各部署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
				エアコンの設定温度 夏季27℃ 冬季22℃とする。	期中	松浦(立)、松浦(○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					5
				コンプレッサの定期点検実施と機械の運転状況に見合った運転対応。	期中	谷澤、浅井	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					4
				コンプレッサダストフィルターの清掃。1ヶ月毎。	期中	浅井	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					5
LPG原単位(kg/kg)	0.505	0.500	金型スリットの目詰まり点検と清掃。	期中	杉本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0.547	×	4	6月までの実績値です。電力同様、ブロック生産の影響により原単位悪化。不良品会議による改善策を即時実行した。	
	使用量/生産量			スチーム漏れ部分の迅速な都度対応。	期中	成型担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
				成型設定の適正管理。	期中	高橋(毅)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			4		
地下水使用量	55,104	54,553	使用量の把握と記録の実施。	期中	谷澤、大塚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	49,514	×	5	6月までの実績値です。各施策は徹底出来た。	
			金型交換時の水冷配管の点検。	期中	高橋(毅)、浅井、杉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
			漏れ部分に迅速な都度対応。	期中	成型担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
水道水使用量	391.5	388	使用量の把握と記録の実施。	期中	高橋(毅)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	340.24	○	5	バルブ緩締めが散見された。	
			バルブ緩締め厳禁。	期中	全社員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			4		
			手洗い時の節水。	期中	全社員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
廃棄物関係	24,611	24,181	廃棄物の分別管理。	期中	久米、鷺坂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19,141	○	5	1月に焼却炉を停止した為、一般Sが増加。産廃Sは大幅に改善出来た。	
			コピー用紙の使用量の記録と裏面使用の推進。	期中	戸塚(芳)、田島	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
			廃スチロールのリサイクル化。	期中	仲田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5		
その他	騒音測定		工場内及び周辺の騒音測定と記録の実施。年6回。	期中	久米		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5	8月の美化活動が不実施。8/20より事務所と仕上場のトイレを使用停止とした。		
	美化活動		工場内及び周辺の清掃と草刈りの実施。年4回。	期中	久米		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			4			
	安全パトロール		5S、KY活動の実施。年6回。	期中	杉本、河本		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			5			
	健康チェック		体調の確認と記録の実施。1ヶ月毎。	期中	久米、藤田(麻)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				5	
	水質検査		工場排水口2ヶ所のPHを1週間毎に試験紙にて測定。	期中	谷澤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				5	
	浄化槽の定期点検		法定点検・清掃の要請。点検年4回(9、12、3、6月)県調査年1回(7月)	期中	藤田(麻)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				5	

* 原単位及び不良率における今期目標値は前期目標達成値の1%減とする。なお前期目標値が未達成の場合は中長期目標に掲げる当該期の目標値とする。
* 水道水は年間使用量(請求書記載量)廃棄物関係においては処分対応量(一廃S・産廃S)を対象とする。

第 53 期 環境目標・計画報告書

<input type="radio"/> 目標・計画	<input type="radio"/> 活動結果・評価
-----------------------------	-------------------------------

2016年9月12日 作成

作成・報告者名
今村

対象工場:住吉工場

区分	項目	前期実績	今期目標	実施計画													目標値評価		評価コメント
				施策手段	期日	部署又は担当者	タイムスケジュール												
9月	10月	11月	12月				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					
不良削減	本型			毎月の不良対策会議の実施。	期中	成形担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	住フ	0.051	0.000	設備の整備、保守点検の実施。	期中	各担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	川一型A			指定倍率の徹底。	期中	予発担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	川一型B																		
	川二型																		
	川ニフ																		
	社外発生不良防止			*発生数・要因・対策の調査把握	期中	小塩、児玉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
グリーン				グリーン調達の推進。	期中	戸塚芳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化炭素・化学物質排出量	電力原単位(kw/kg)	0.538	0.533	コンプレッサの始動を成型機の始動10分前とする。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	使用量/生産量			残業時の照明は最小限度に抑える。	期中	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				不要時の消灯活動と使用記録の実施。	期中	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				エアコンの設定温度 夏季27℃ 冬季22℃とする。	期中	戸塚芳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				コンプレッサの定期点検実施と機械の運転状況に見合った運転対応。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				コンプレッサダストフィルターの清掃。1ヶ月毎。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LPG原単位(kg/kg)	0.283	0.280	スチーム漏れ部分の迅速な都度対応。	期中	成型担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			成型設定の適正管理。	期中	成型担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			不要設備・配管の管理、撤去。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
地下水使用量	使用量(m)	49,514	49,018	使用量の把握と記録の実施。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				不要設備・配管の管理、撤去。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				漏れ部分に迅速な都度対応。	期中	成型担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
水道水使用量	使用量(mi)	391.5	388	使用量の把握と記録の実施。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				バルブ緩締め厳禁。	期中	成形担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				節水。	期中	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
廃棄物関係	全量(kg)	19,141	23,939	廃棄物の分別管理。	期中	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				コピー用紙の使用量の記録と裏面使用の推進。	期中	戸塚(芳)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				廃スチロールのリサイクル化。	期中	久米	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	騒音測定			工場内及び周辺の騒音測定と記録の実施。年6回。	期中	久米	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	美化活動			工場内及び周辺の清掃と草刈りの実施。年2回。	期中	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	安全パトロール			5S、KY活動の実施。年6回。	期中	今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	健康チェック			体調の確認と記録の実施。1ヶ月毎。	期中	戸塚芳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

* 原単位及び不良率における今期目標値は前期目標達成値の1%減とする。なお前期目標値が未達成の場合は中長期目標に掲げる当該期の目標値とする。

* 水道水は年間使用量(請求書記載量)廃棄物関係においては処分対応量(一廃S・産廃S)を対象とする。

第52期 環境目標・計画・活動報告書
対象工場:川尻工場

目標・計画	○	活動結果・評価
-------	---	---------

2016年9月6日作成

作成・報告者	松浦令 富永 藤田孝
--------	------------

区分	項目	前期実績	今期目標	実施計画													目標値評価			実施評価	評価コメント					
				施策手段	期日	部署又は担当者	タイムスケジュール												実績値			○・×	／5点			
不良削減	旧本型			不良対策会議の実施(1回/月)	期中	松浦令	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	第二とブロックが年間通じて目標達成できた。各月の達成回数は第一Aが0回、第一Bが4回、第二が10回、ブロックが12回となっている。第一AB共に目標達成はおろか前年実績より悪化した。第二は不良対策会議により情報の共有化や対策を徹底できたことによる効果が出始めている。
	住ブ			成型機の日常点検の実施(毎日)	期中	第一、第二製造部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5		
	川一型A	0.239%	0.207%	金型メンテナンス(都度)	期中		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4		
	川一型B	0.095%	0.094%																							
	川二型	0.167%	0.165%																							
	川二ブ	0.031%	0.000%																							
社外発生不良防止				*発生数・要因・対策の調査把握	期中	富永、藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	

グリーン				グリーン調達の推進	期中	良知、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	特に事務用品についてグリーン調達を心掛けている。
------	--	--	--	-----------	----	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------------------

二酸化炭素・化学物質排出量	電力原単位(kw/kg)	1.127	1.070	テマツ監視システム運用による消費電力管理	期中	松浦令	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	目標未達。昨年と比較してブロックの生産量が減少。割合として17.1%→13.8%となっていることが原単位悪化の原因と考えられる。デマンドは752kw→765kw(4月)→785kw(9月)と増加傾向にある。予備発泡機を1台設置したことによる影響もあるが、それ以上に増加している。太陽光発電は社内での利用はないが、外部への売電により、CO2削減には貢献できている。			
				エア漏れの定期点検(1回/6ヶ月)	期中	増田隆、今村																					3	
				エアコンのフィルター清掃(1回/6ヶ月)	期中	松浦令、大塚																						4
				エアコン設定温度の点検(1回/月)安全パトロールにて	期中	富永、藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	5
				コンプレッサタストフィルターの清掃(1回/月)	期中	和田、濱田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	5
	老化化したポンプを高効率機へ更新する。(能力見直し含む)	期中	富永、藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5				
	省エネルギー委員会の開催	期中	富永、今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5				
	ソーラエネルギーの利用	期中	松浦令	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5				
	重油原単位(l/kg)	0.830	0.794	熱交換器プレート洗浄によるボイラー給水温度管理(1回/2週間/2台)	期中	毛利新、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	5	
				スチーム漏れの定期点検(1回/6ヶ月)	期中	増田隆、高橋																					3	
スチームトラップの漏れをなくす(作動不良確認)				期中	清水、今村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3		
金型メンテナンス(スリットつまり、水冷ノズル)				期中	清水、近藤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4		
10tボイラーの運転圧力を下げる。(0.1MPa前後)				期中	富永、藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3		

地下水使用量	使用量(m)	177,167	175,395	使用量の把握と記録の実施	期中	毛利新、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	目標未達。上記と同様の理由。
				漏れの確認	期中	毛利新、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

水道水使用量	使用量(m)	760	516	使用量の把握と記録の実施	期中	毛利新、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	目標未達。設備が増加したことが水道使用量につながっている。
				手洗い時等の節水	期中	全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

廃棄物関係	全量(kg)	24,611	24,181	廃棄物の分別の徹底、記録管理	期中	富永	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	分別はかなりできるようになったが、細かい部分でまだ徹底できていない。
				ゴミ用紙の使用量の記録と裏面使用の推進	期中	良知、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

その他	騒音測定	1回/2ヶ月	期中	松浦令、増田真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	それぞれの項目についてほぼ実施できた。美化活動の回数も昨年4回から6回に増やし、更に工場内草取りなども従業員の協力で実施できた。	
	工場周辺美化活動及び草取り	美化活動年6回(10,12,2,4,6,8月)、草取り(5~8月)	期中	全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5		
	安全パトロール	1回/月	期中	富永、藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5		
	健康チェック	1回/月	期中	全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		4
	照度測定	1回/年	期中	富永、藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		5

* 原単位及び不良率における今期目標値は前期目標達成値の1%減とする。なお前期目標値が未達成の場合は中長期目標に掲げる当該期の目標値とする。
* 水道水は年間使用量(請求書記載量)廃棄物関係においては処分対応量(一廃S・産廃S)を対象とする。

作成・報告者
松浦令 富永 藤田孝

2016年9月6日作成

第53期 環境目標・計画・活動報告書
対象工場：川尻工場

○ 目標・計画 活動結果・評価

区分	項目	前期実績	今期目標	実施計画													目標値評価		施策評価	評価コメント			
				施策手段	期日	部署又は担当者	タイムスケジュール														実績値	○・×	
							9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					
不良削減	本型			不良対策会議の実施(1回/月)	期中	第一、第二製造部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	住ブ			成型機の日常点検の実施(毎日)	期中		○	運用															
	川一型A	0.287%	0.207%	成型機定期点検記録(1回/6ヶ月)	期中						○												
	川一型B	0.124%	0.094%	設備修理記録(都度)	期中																		
	川二型	0.122%	0.121%																				
	川二ブ	0.000%	0.000%																				
	社外発生不良防止				*発生数・要因・対策の調査把握	期中	富永、藤田	○	調査														

グリーン	項目	期日	担当者	評価	実績値	○・×	施策評価	評価コメント
	グリーン調達	期中	良知、浦島	○	運用			

二酸化炭素・化学物質排出量	電力原単位 (kw/kg)	1.155	1.070	テマツ管理システム運用による消費電力管理(ピークシフトなど)	期中	松浦令	○	運用																
				コンプレッサダストフィルター清掃(1回/月)	期中	和田、横山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				エアコンフィルター清掃(1回/6ヶ月)	期中	松浦令、大塚																		
	使用量/生産量	0.839	0.794	成型機エア-漏れ点検及び漏れ箇所の即時修復(都度)	期中	増田隆、高橋紹	○	運用																
				省エネ委員会(1回/2ヶ月)	期中	富永、清水	○		○		○		○		○		○							
				ハイソサイクロンの運用	期中	毛利新	○	運用																
重油原単位 (L/kg)	0.839	0.794	成型機蒸気漏れ点検及び漏れ箇所の即時修復(都度)	期中	増田隆、高橋紹	○	運用																	
			熱交換機運用(ホィー給水温度管理)	期中	毛利新	○	運用																	
			金型メンテナンス	期中	清水	○	運用																	
使用量/生産量	171,744	170,026	マスターフレームバックプレート用断熱パネル(セラミックペーパー)の導入検討	期中	松浦令	○	検討																	
			試導入	○	試験導入																			
			効果確認	○	効果確認																			
地下水使用量	使用量 (m)	171,744	170,026	汲み上げ量の記録	期中	毛利新	○	運用																
				漏れの確認	期中	毛利新	○	確認																
水道水使用量	使用量 (m)	733	516	使用量の把握と記録の実施	期中	毛利新	○	運用																
				手洗い時等の節水	期中	全従業員	○	運用																
廃棄物関係	全量 (kg)	19,141	23,939	廃棄物の分別の徹底、記録管理	期中	富永	○	運用																
				コピー用紙の使用量の記録と裏面使用の推進	期中	良知	○	運用																

その他	安全衛生パトロール	1回/月	期中	富永、藤田、清水、和田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	健康管理チェックシート	1回/月	期中	全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	騒音測定	1回/2ヶ月	期中	松浦令、浦島	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
	エアコン簡易点検(フロン法)	1回/4ヶ月	期中	松浦令、藤田			○		○		○		○		○		○		○		○		○
	照度測定	1回/年	期中	藤田																			
	工場周辺美化活動及び草取り	美化活動年6回(10.12.2.4.6.8月)、草取り(5~8月)	期中	全従業員		○		○		○		○		○		○		○		○		○	○

* 原単位及び不良率における今期目標値は前期目標達成値の1%減とする。なお前期目標値が未達成の場合は中長期目標に掲げる当該期の目標値とする。
* 水道水は年間使用量(請求書記載量)廃棄物関係においては処分対応量(一廃S・産廃S)を対象とする。

第 53 期 環境目標・計画報告書

<input type="radio"/> 目標・計画	<input type="radio"/> 活動結果・評価
-----------------------------	-------------------------------

2015年9月20日 作成

作成・報告者名		
谷澤	本杉	戸塚

対象工場: 本社工場

区分	項目	前期実績	今期目標	実施計画													目標値評価			評価コメント		
				施策手段	期日	部署又は担当者	タイムスケジュール												実績値		○・×	/5点
							9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
不良削減	本型	0.279	0.276	毎月の不良対策会議の実施。	期中	谷澤・杉本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	本ブ			金型の整備、機械保守点検の実施。	期中	成形担当者	○	運用														
	川一型A																					
	川一型B																					
	川二型																					
	川ニブ																					
	社外発生不良防止			*発生数・要因・対策の調査把握	期中	戸塚・大石	○	運用														
グリーン				グリーン調達の推進。	期中	松浦里	○	運用														
二酸化炭素・化学物質排出量	電力原単位 (kw/kg)	1.347	1.333	コンプレッサーを成型機の稼働状況に見合った運転対応。	期中	浅井	○	運用														
	使用量 / 生産量			不要時の消灯活動と使用記録の実施。	期中	全員	○	運用														
				エアコンの設定温度 夏季27℃ 冬季22℃とする。	期中	事務所	○	運用														
LPG原単位 (kg/kg)		1.007	0.996	スチーム漏れ部分の迅速な都度対応。	期中	成型担当者	○	運用														
	使用量 / 生産量			成型設定の適正管理。	期中	成型担当者	○	運用														
地下水使用量	使用量 (m)	36,385	36,021	使用量の把握と記録の実施。	期中	谷澤	○	運用														
				漏れ部分に迅速な都度対応。	期中	成型担当者	○	運用														
水道水使用量	使用量 (m)	300	297	使用量の把握と記録の実施。	期中	谷澤	○	運用														
				節水。	期中	全員	○	運用														
廃棄物関係	全量 (kg)	19,141	23,939	廃棄物の分別管理。	期中	全員	○	運用														
				コピー用紙の使用量の記録と裏面使用の推進。	期中	事務所	○	運用														
その他	騒音測定			工場内及び周辺の騒音測定と記録の実施。年6回。	期中	谷澤		○		○		○		○		○		○				
	美化活動			工場内及び周辺の清掃と草刈りの実施。年4回。	期中	全員		○				○				○						
	安全パトロール			5S、KY活動の実施。年6回。	期中	杉本、大町			○		○		○		○		○		○			
	健康チェック			体調の確認と記録の実施。1ヶ月毎。	期中	松浦里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

* 原単位及び不良率における今期目標値は前期目標達成値の1%減とする。なお前期目標値が未達成の場合は中長期目標に掲げる当該期の目標値とする。
 * 水道水は年間使用量(請求書記載量)廃棄物関係においては処分対応量(一廃S・産廃S)を対象とする。

Ⅷ. 環境関連法規等の順守状況の確認及び違反・訴訟等

①

関係法令	適用事項	該当事項	該当部署	順守状況
				確認日 確認者
環境基本法	①事業活動に伴う公害防止と自然環境保全措置 ②廃棄物に対する必要措置 ③環境への負荷低減とリサイクル ④国、地方の施策協力	—	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
地球温暖化対策推進法	①温室効果ガスの排出抑制等の措置に努める ②県、市町村の施策協力 ③温室効果ガス排出削減計画書、報告書の提出	—	川尻工場	○ 小塩孝史 6月24日
エネルギー使用の合理化等に関する法律	①エネルギー使用状況届出 ②統括管理者、企画推進者、管理員の選任 ③企業単位の定期報告、中長期計画書の提出 ④エネルギーの使用量、合理化の推進	①特定事業所(全工場) ②第二種指定工場(川尻工場)	全工場	○ 松浦里美 7月20・22日
工業用水法	①地下水揚水設備の届出 ②地下水採取量の報告	①地下水揚水設備	全工場	○ 松浦里美 2月9日
大気汚染防止法	①ばい煙発生施設の設置届出 ②ばい煙排出基準 ③測定(2回/年) ④公害防止管理者の選任(川尻工場)	①ボイラ	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
水質汚濁防止法	①排出基準 ②排水検査(1回/年)	①工場排水(50㎡以上)	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
浄化槽法	①設置届出 ②保守点検 ③水質基準 ④水質検査(1回/年)	①浄化槽	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
PRTR法(化学物質使用・排出量)	①化学物質排出量の届出報告(1回/年)	①重油に含有される化学物質(メタルナフタレン)	全工場	○ 藤田麻恵 5月13日
フロン排出抑制法	①特定製品を廃棄する場合のフロンの適正処理 ②フロン回収処理報告書の発行、保管 ③エアコン設備管理者の選任 ④エアコン室外機の定期点検、記録	①コンプレッサー ②エアドライヤー ③業務用エアコン	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
騒音規制法	①特定施設の届出 ②自主測定	①コンプレッサー ②送風機 ③業務用エアコン ④ポンプ類	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
振動規制法	①特定施設の届出	①コンプレッサー ②ポンプ類 ③成型機	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
廃棄物処理法(自社排出)	①廃棄物の適正処理 ②廃棄物の3Rの推進 ③産業廃棄物の適正な保管・処理 ④産業廃棄物の処分状況報告 ⑤産業廃棄物の規制・基準の遵守 ⑥概要物質の成分検査 ⑦処分・収集委託契約、マニフェストの発行、保管	①一般廃棄物 ②廃油 ③廃プラ ④金属屑 ⑤木パレ ⑥燃え殻 ⑦廃イオン樹脂	全工場	○ 藤田麻恵 5月21日
容器リサイクル法	①直接販売製品の再商品化	再商品化委託契約申込み	本社(事務所)	○ 松浦里美 1月12日
各リサイクル法(家電・容器包装・自動車)	①適正な処理及び再商品化義務 ②リサイクル料金の負担	①特定家電 ②パソコン ③自動車 ④容器	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日

○印＝遵守 ・ ×印＝不適

②

関係法令	適用事項	該当事項	該当部署	遵守状況
				確認日 確認者
消防法(保安)	①該当施設の設置申請、届出 ②貯蔵標示 ③定期検査(漏洩) ④保安管理者の選任	①重油タンク(屋外) ②軽油タンク(地下) ③原料庫、製品庫	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
消防法(設備)	①消防設備の設置届出 ②定防火設備の期点検 ③防火管理者の選任	①火災報知器 ②消火器・消火栓 ③標示	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
工場立地法	敷地面積における施設及び緑地面積の割合 * 敷地面積: 9,000㎡又は建築面積: 3,000㎡以上の工場	①生産施設 ②環境施設 ③緑地	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
吉田町オアシス条例	①緑地面積の確保	①本社工場-10% ②川尻工場-20%	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
電気事業法	①電気主任技術者の選任 ②電気年次点検		全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
グリーン購入法	①環境に配慮した事務機器、事務用品等の購入に努める。	—	全工場	○ 松浦秀哉 9月14日
取引先・業界よりの要求事項	①RoHs規制 ②Reach規制 ③発泡スチロール協会	①特定含有規制物質の使用禁止 ②特定含有物質の公表 ③発泡スチロールの再	本社工場(営業)	○ 戸塚靖也 9月14日
自主校正検査	①騒音測定器 ②pH測定器	機器の校正検査	本社工場	○ 松浦秀哉 9月14日

○印-遵守 ・ ×印-不適

違反・訴訟等

- ・上記のとおり、第52期における環境関連法規等の順守状況における違反はありませんでした。
- ・外部または利害関係者等よりの苦情、訴訟等もありませんでした。

作成日	2016. 9. 23	作成者	環境管理責任者 松浦秀哉
-----	-------------	-----	--------------

Ⅸ. 代表者の見直し

第52期（2015年 9月～2016年 8月）

作成者	環境管理責任者
	松浦 秀哉

作成 平成2016年 9月30日

1・見直し 関連情報	項目	確認	必要に応じて評価・他
	1	エコアクション21文書	レ
2	環境目標及び達成状況	レ	施策対応は出来ているが、結果は未達だった。
3	環境活動計画及び順守状況	レ	特に問題なし。来期も継続して取り組む。
4	環境関連法規要求一覧及び順守状況	レ	特に問題なし。
5	外部コミュニケーション・対応記録	レ	特に問題なし。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	レ	1件あり、報告書及び再発防止対応確認。
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	レ	特に問題なし。
8	その他		

(環境管理責任者コメント)

目標未達に関しては受注量の減少と不安定な受注変動から生じる生産効率の悪化が大きいと思われる。第53期は新しい組織・生産体制の下、心機一転頑張らしましょう。

2・代表者による 全体評価及び見直し	(今期評価)		
	環境活動も定着化してきました。目標値の達成はすべてできませんでしたが向上していると思います。ちょいミスか、うっかりミスなのか、ブロック製品の一時的な不良は大きな損失に繋がります。今後絶対出さないように！		
	(来期取組)		
	生産品目に関係なく、原単位の向上を目指す。		
	代表取締役社長 松浦敏郎		
	見直し項目	変更の 必要性	確認(必要に応じてコメント)
	1 環境方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	問題なし
	2 環境目標	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	問題なし
3 環境活動計画	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	継続取組	
4 環境に関する組織	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	問題なし	
5 その他のシステム要素	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	問題なし	
6 その他(外部への対応)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	問題なし	